

一般国道41号 大沢野富山南道路

これまでの経緯と現状

大沢野富山南道路の概要

- ・大沢野富山南道路は、富山市と高山市を連絡し、中部縦貫自動車道、北陸自動車道、東海北陸自動車道等の高規格幹線道路を補完する地域高規格道路 富山高山連絡道路の一部を構成。
- ・国道41号の現道区間は、起点から神通川は山間部に囲まれ、神通川から終点は、旧大沢野町の市街地を通過。

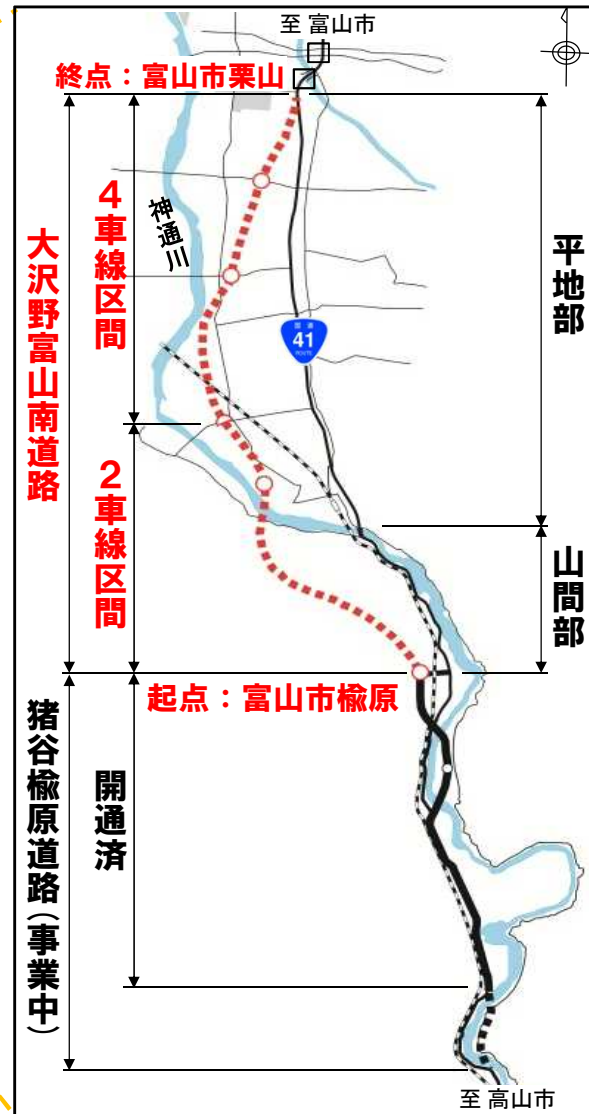
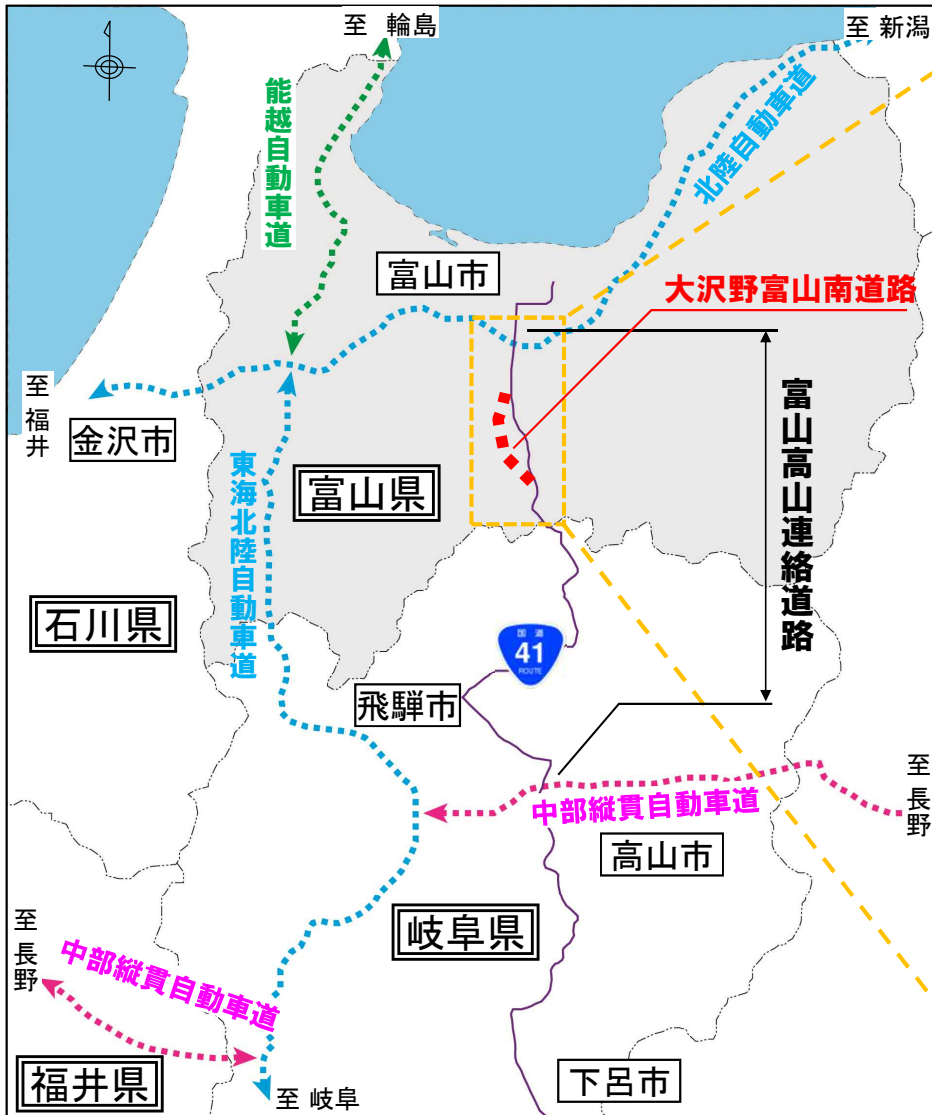


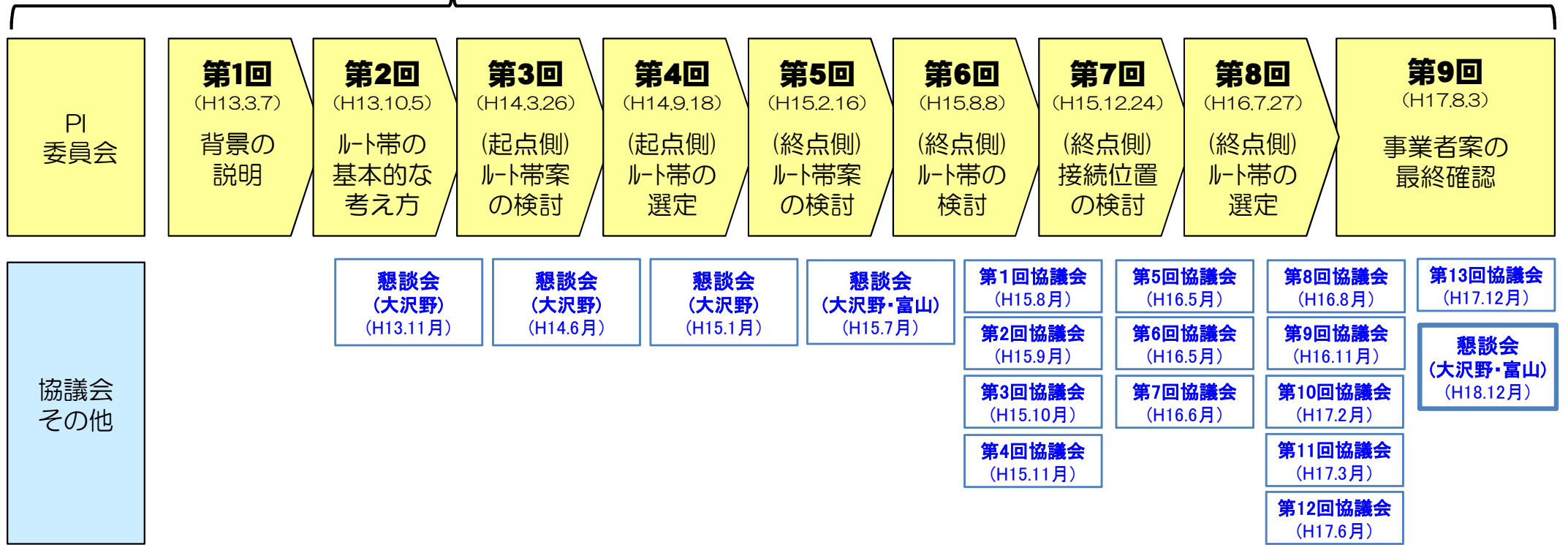
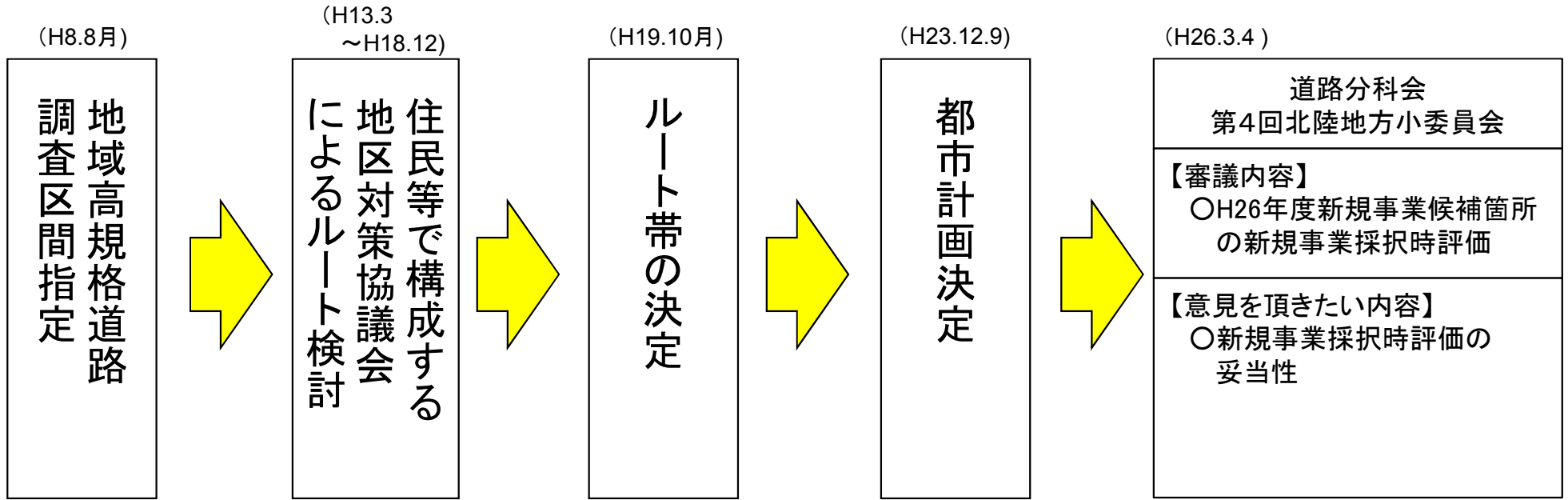
写真 市街地部の状況



写真 山間部の状況

凡 例	
	供用中区間
	事業中区間
	調査中区間
	対象区間

大沢野富山南道路 これまでの経緯



大沢野地区の現状と課題について

大沢野地区の現状と課題 ①渋滞・事故

- ・大沢野地区の国道41号は、北陸エリア有数の信号交差点過密区間であり、混雑度が平日1.32と高く、主要渋滞箇所が4箇所、事故危険区間が6箇所存在する等、沿線に集積する製造業等の企業の活動に支障が生じている。
- ・東海北陸自動車道の通行止め時は、代替路となる国道41号の交通量が増加し、渋滞に拍車がかかる。



図 東海北陸道通行規制の国道41号への影響
※主要渋滞箇所・事故危険区間・地域の協議会等において特定された箇所

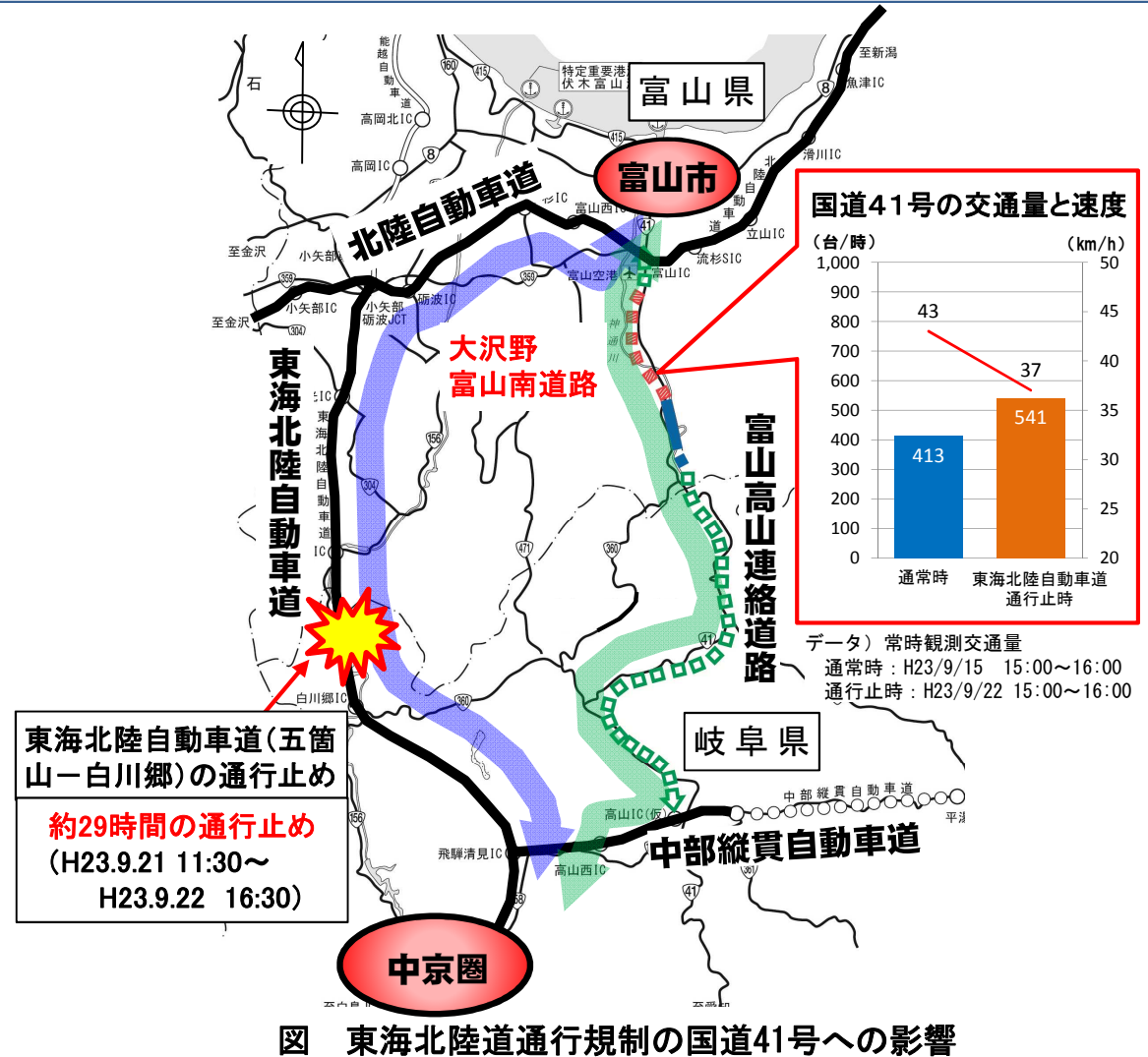


図 東海北陸道通行規制の国道41号への影響

大沢野地区の現状と課題

②医薬品の製造で使用する有機溶剤等の輸送に支障

- ・富山県の医薬品生産額は全国第3位
- ・東海北陸自動車道は飛騨トンネル等で危険物積載車両が通行不可であり、中京圏からの医薬品の製造で使用する有機溶剤等の輸送に、国道41号を利用。
- ・しかし、国道41号の一部区間に斜面崩落等の脆弱な災害危険箇所等が存在。

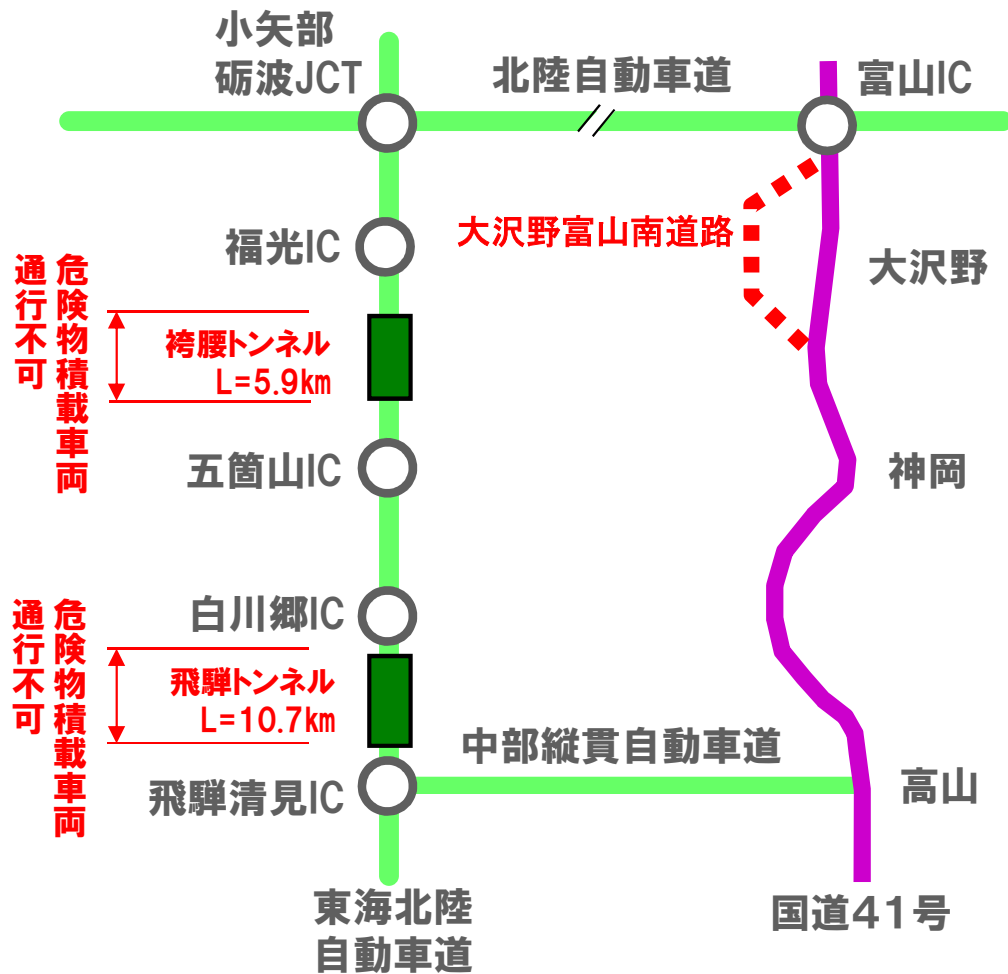


図 危険物積載車両の輸送ルート

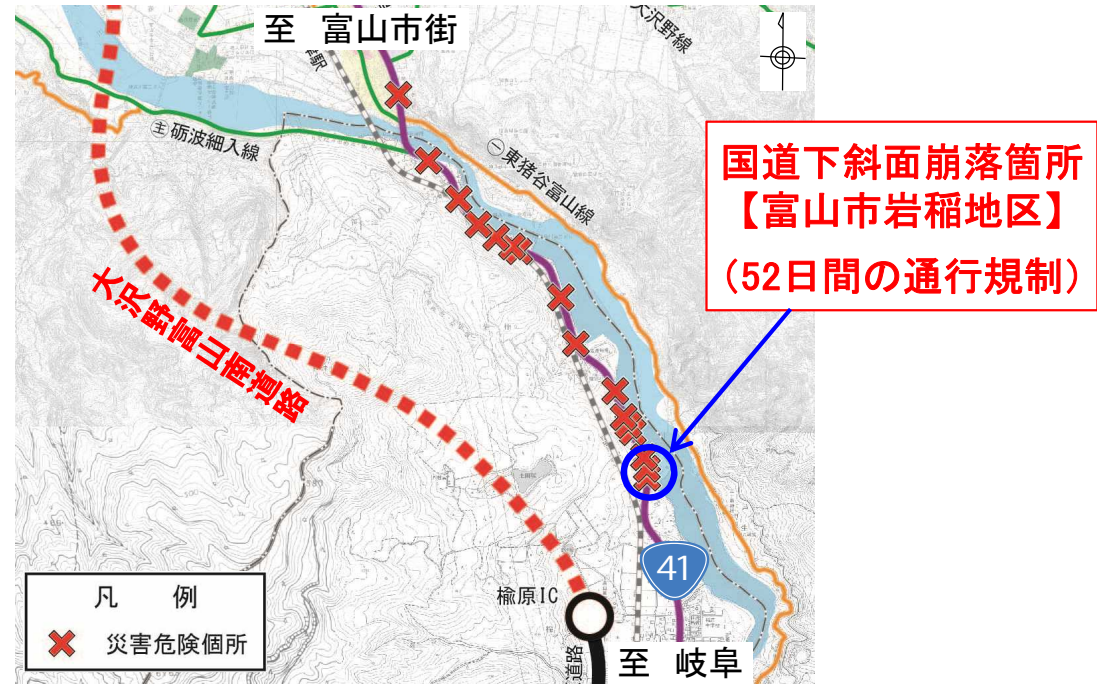


図 国道41号災害危険箇所



写真 岩稲地区の国道下斜面崩落 (H22. 3. 9)

大沢野地区の現状と課題 ③冬期障害

- ・大沢野地区の国道41号は、路肩幅員が50cmの区間が多く、地区の大部分が積雪時に十分な車道幅員が確保出来ず、交通渋滞や大型車のすれ違いが困難な状況となっている。
- ・歩道部も積雪及び車道除雪に伴う堆雪により歩行空間が確保出来ず、歩行者は降雪時には車道部での通行を余儀なくされている。



【冬期の交通渋滞状況】

旅行速度の低下により渋滞が発生

R41下大久保 238.5kp

写真 富山市下大久保地先(H24.1.5)



大型車同士のすれ違いが困難

【冬期交通量】
9,783台/12h
(大型車混入率14%)

※H17センサス

写真 富山市栗山地先(H24.2.2)



車道を通行する歩行者



写真 大沢野市街地の冬期間の歩行者

【路肩幅員状況】

市街地部の98%は堆雪帯が確保されていない

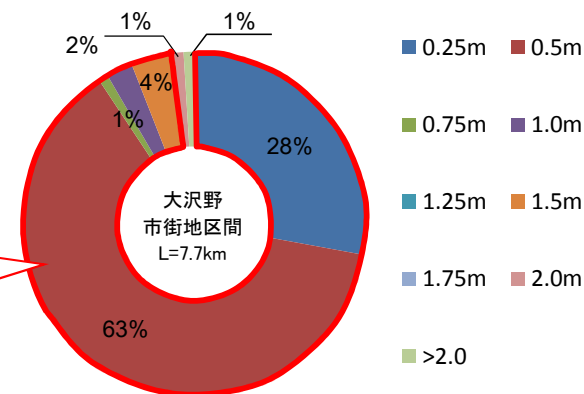
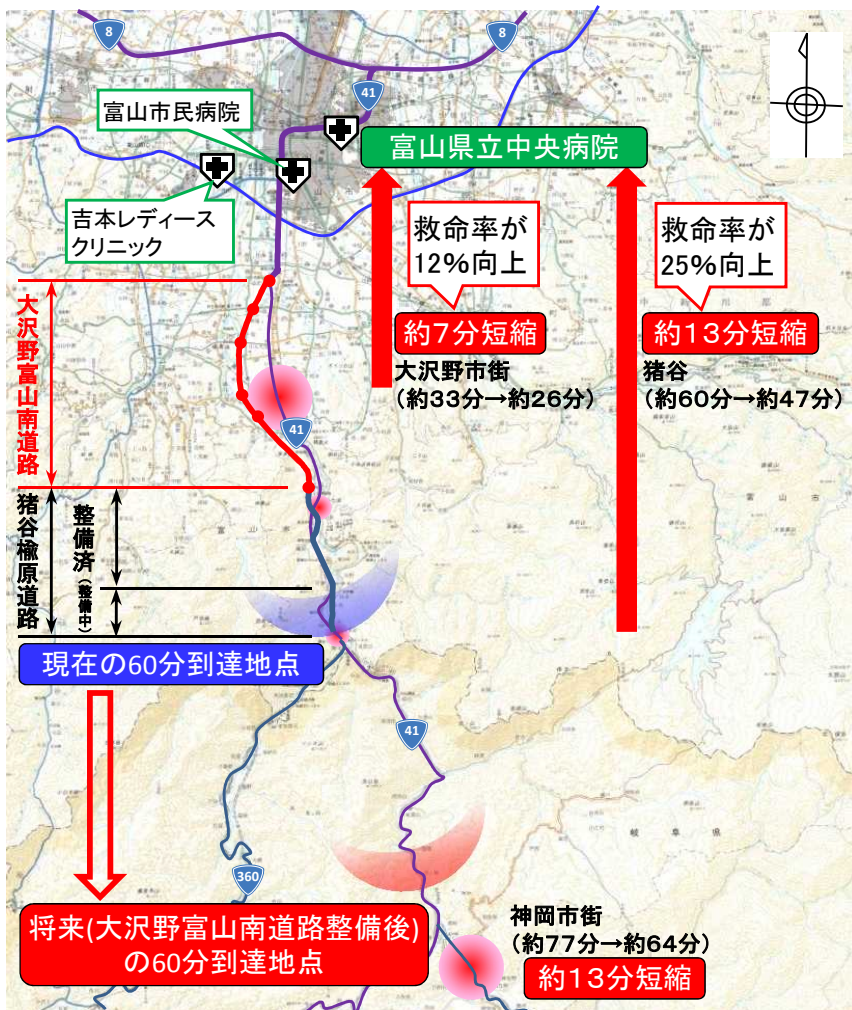


図 国道41号 大沢野市街地の路肩幅員

大沢野地区の現状と課題 ④医療アクセス

- ・富山市内唯一の南北主要幹線道路の国道41号は、第三次救急医療施設(県立中央病院)への救急搬送時の重要路線となっている。
- ・隣県の飛騨市は、妊婦一般健康診査委託医療機関に富山市内の2病院を指定しており、妊婦の約1割が富山市内で出産。
- ・岐阜県から富山市民病院へ延べ2,100人/年※(飛騨市人口の約1割に相当)が通院している。



※富山市民病院提供資料(H24.8~H25.7)

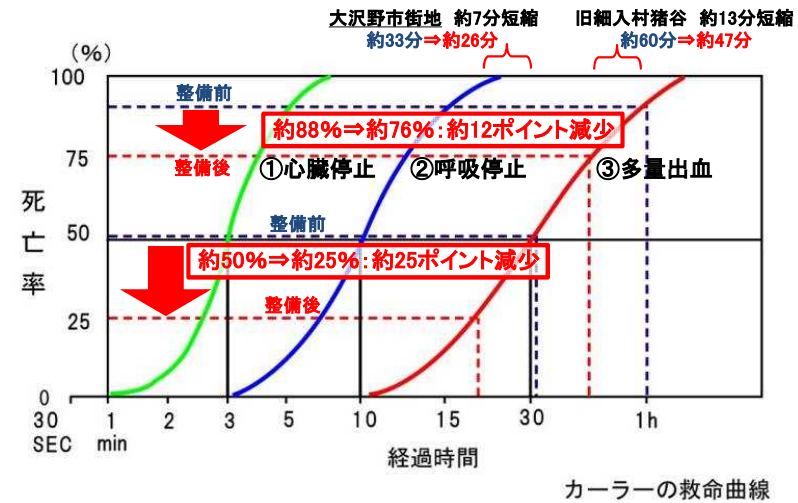


図 第三次救急医療施設への搬送時間短縮(県立中央病院)

医療機関名	住所	医療機関名	住所
飛騨市民病院	飛騨市	富山市民病院	富山市
河合医院	飛騨市	吉本レディースクリニック	富山市
高山赤十字病院	高山市		
岩佐ウィメンズクリニック	高山市		
アルプスベルクリニック	高山市		

出典)飛騨市HP

指定の7病院のうち
2病院が富山市内

表 飛騨市における妊婦一般健康診査の委託医療機関

図 第三次救急医療施設への搬送時間

ルート帯選定の考え方

大沢野富山南道路おける計画段階評価

1. 富山県大沢野地区の課題

①交通渋滞

- 富山県大沢野地区の幹線道路において、主な幹線道路では混雑度1.0を超過。
- 特に、国道41号の高内～栗山間は信号交差点が多く、休日は中京圏からの広域交通が集中し、混雑度1.5を超えている。(図1)

②交通事故の多発

- 大沢野地区の国道41号では、139件(H20～23)もの交通事故が発生。特に信号が連担している区間においては、渋滞が発生しやすく事故の誘発を招いている。(図2)

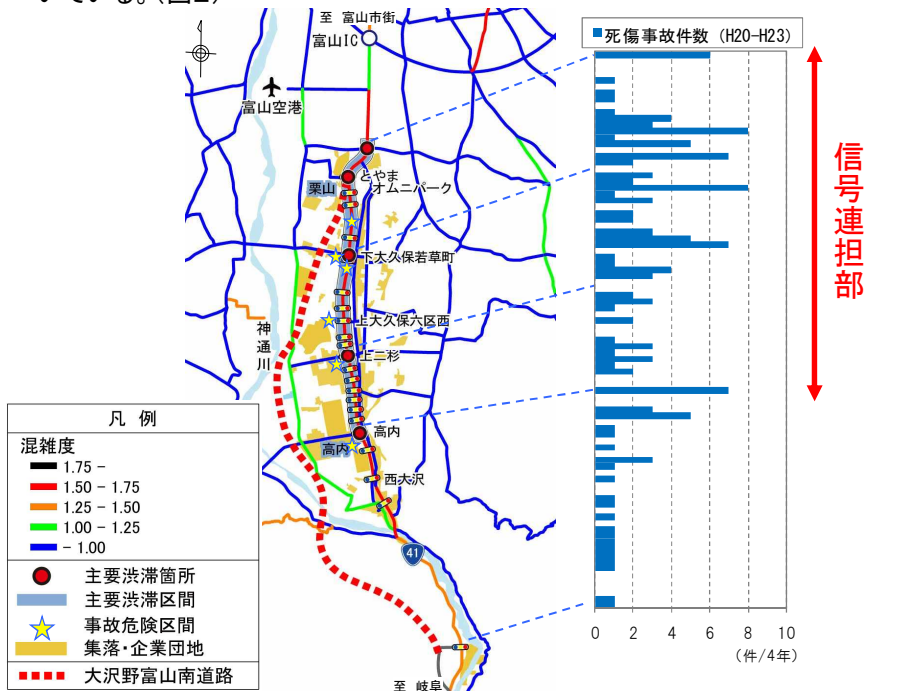


図1 大沢野地区における休日の混雑度

※H22道路交通センサス
国道41号は常時観測データ

図2 大沢野地区における死傷事故件数
(とやまオムニパーク交差点～榎原交差点)

※ITARDAデータ(H20～H23)

③直轄の幹線道路が脆弱

- 国道41号は、第1次緊急通行確保路線に位置づけられているが、平成22年3月には国道下斜面崩落により52日間の通行規制が発生しており、緊急通行確保路線として脆弱。

2. 原因分析

①交通容量不足

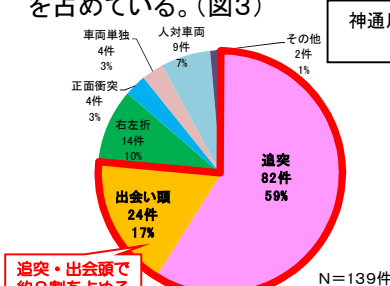
- 大沢野地区の国道41号では、市街地の道路幅員が狭い2車線区間に、中京圏との広域交通が通過し、信号が連続しているため、混雑度が平日では1.32、休日においては1.52と交通容量を超過している。(写真1)



写真1 大沢野地区における交通状況

②事故を誘発する道路状況

- 大沢野地区の市街地をとる国道41号は、信号交差点が連続し、沿道店舗への出入があるため追突・出会い頭事故が4年間で約106件発生し、死傷事故の約8割を占めている。(図3)



【国道41号(大沢野地区)】
図3 事故類型別発生件数

※ITARDAデータ(H20～H23)

③災害危険箇所の存在

- 国道41号の一部区間においては、神通川が川と山に挟まれた急峻な地形のため、16箇所の脆弱な災害危険箇所が存在する。(写真2、図4)



写真2 急峻な地形の状況

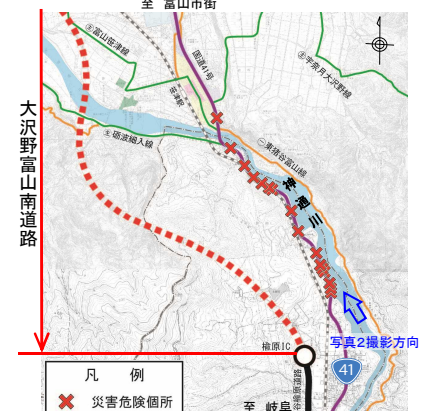


図4 国道41号の災害危険箇所

3. 政策目標

- ①交通容量確保による、交通円滑性の確保
- ②安全性の高い道路への交通転換による、交通安全性の向上
- ③災害危険箇所の解消による、幹線道路の機能確保

大沢野富山南道路における計画段階評価

4. 対策案の検討

評価軸	【案①】西側バイパス整備 (2車・4車立体交差)	【案②】東側バイパス整備 (2車・4車立体交差)	【案③】41号現道活用 (楡原～高内:2車平面交差、高内～栗山:4車立体交差)
交通円滑性の確保 (指標:国道41号の混雑度)	○ ・バイパス整備により、国道41号(現道及びバイパス)の交通容量が確保され、交通円滑性が確保。 (現道区間) [現況] 1.32 → [整備後] 0.93 (バイパス) [現況] - → [整備後] 0.52	△ ・西側バイパス整備(案①)に比べ、国道41号等からのアクセス性に劣るため、国道41号(現道)に混雑が残存し、交通円滑性が確保できない。 (現道区間) [現況] 1.32 → [整備後] 1.01 (バイパス) [現況] - → [整備後] 0.41	△ ・改良にともなう交通量増加により、国道41号(楡原～高内:2車平面交差)の交通容量が不足して、交通円滑性が確保できない。 (平面区間) [現況] 1.32 → [整備後] 1.70 (立体部) [現況] - → [整備後] 0.74
交通安全性の向上 (指標:平面交差点数)	○ ・バイパス整備により、平面交差点がなくなる。 [現況] 22箇所 → [整備後] 1箇所	○ ・バイパス整備により、平面交差点がなくなる。 [現況] 22箇所 → [整備後] 1箇所	○ ・高内以南において、平面交差点が残る。 [現況] 22箇所 → [整備後] 5箇所
幹線道路の機能確保 (指標:災害危険箇所数)	○ ・災害危険箇所を回避し、災害時における道路の信頼性を確保。 [現況] 16箇所 → [整備後] 0箇所	○ ・災害危険箇所を回避し、災害時における道路の信頼性を確保。 [現況] 16箇所 → [整備後] 0箇所	× ・現道整備による災害対策は限界であり、現状以上の機能確保は困難。 [現況] 16箇所 → [整備後] 16箇所
幹線道路の機能確保 (指標:リダダンシー)	○ ・バイパス整備により、現道に対するリダダンシーが確保できる。	○ ・バイパス整備により、現道に対するリダダンシーが確保できる。	△ ・立体区間については現道に対するリダダンシーを確保できるが、平面区間は確保できない。
コスト	約380億円	約385億円	約415億円
総合評価	○	△	△

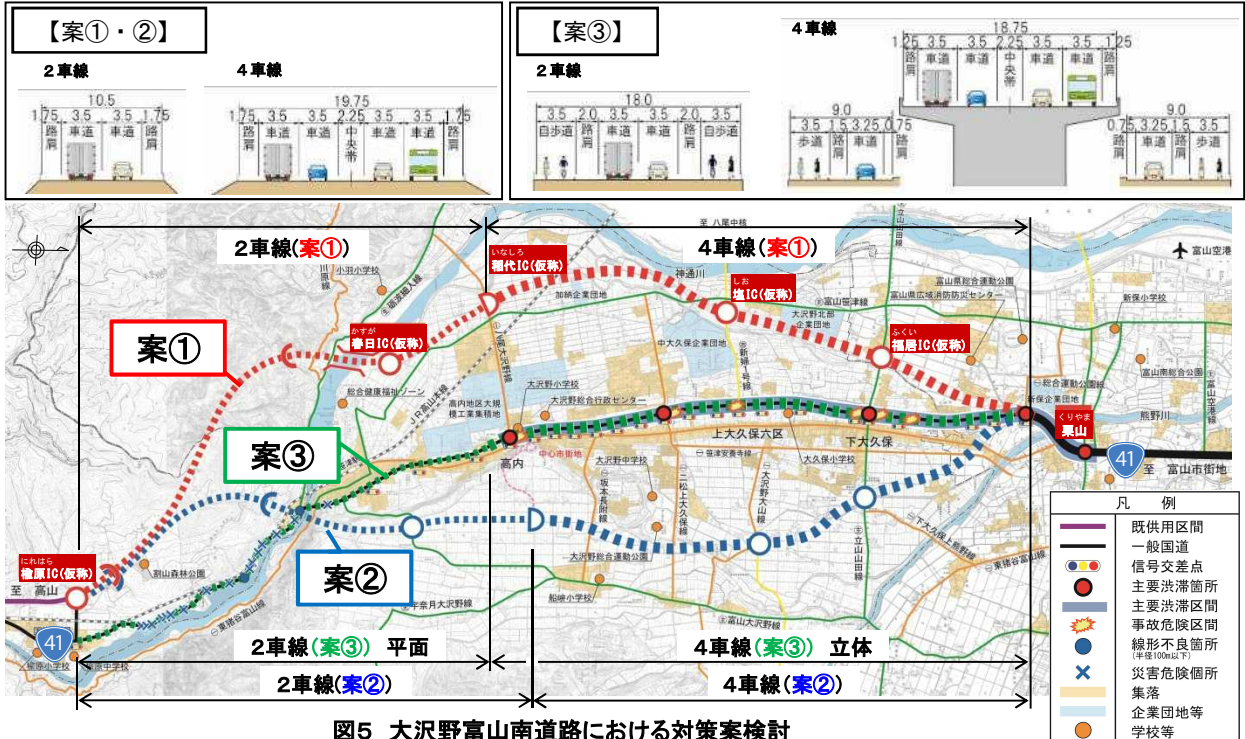


図5 大沢野富山南道路における対策案検討

対応方針(案):【案①】による対策が妥当

【計画概要】

- ・路線名: 一般国道41号
にれはら くりやま
- ・区間: 富山市楡原～富山市栗山
- ・概略延長: 約1.2km
- ・構造概要: 楡原IC～稲代IC間
にれはら いなしろ
第3種第2級, 2車線, 設計速度60km/h
稲代IC～栗山間
いなしろ くりやま
第3種第1級, 4車線, 設計速度80km/h
- ・概ねのルート: 図5 案①の通り

(参考)当該事業の経緯等

都市計画決定等の状況

- H18.12 地元地区で構成する「地区対策協議会」によるルート帯の提言(案①)
- H23.12 都市計画決定

地域の要望等

- H25.11 富山県知事が国土交通大臣に新規事業採択を要望
- H26.1 富山県知事が国土交通副大臣に新規事業採択を要望